

## 令和4年(2022年)県政おもなできごと in 南信州

この一年を振り返り、南信州地域のおもなできごとをまとめました。

### 通年

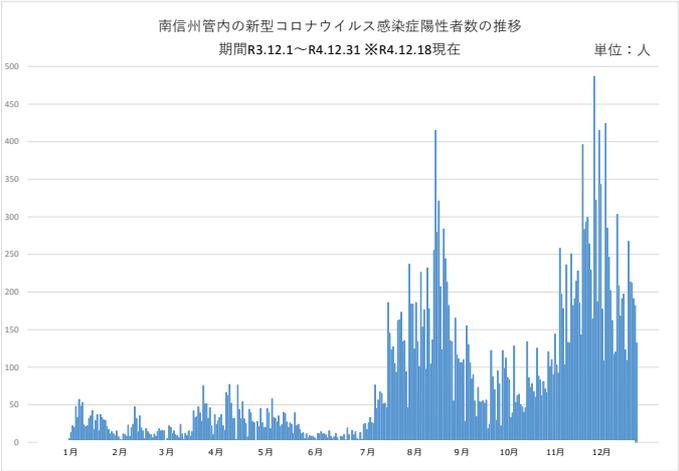
#### ●新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染症は、年明け早々から感染が急拡大した第6波に始まり、全国の感染者数が世界1位を記録した第7波、そして県内でも第7波を上回る新規陽性者が確認された第8波と、1年を通して感染力が強い“オミクロン株”が猛威を振るっています。

新型コロナウイルス感染症長野県対策本部南信州地方部では、「まん延防止等重点措置」の適用期間中の飲食店等への休業・営業時間短縮等の要請、ワクチン接種の促進支援、食料支援の一環である「フードドライブ」などを実施し、感染拡大防止と社会経済活動の両立に取り組みました。

また、飯田合同庁舎では、入庁方法の変更や、共用部分の消毒、テレワークの推進など、感染防止対策を実施しました。

#### <管内の主な取り組み>

1月 ～ 3月	<p>・ <b>飲食店等への時短要請を実施</b></p> <p>「まん延防止等重点措置」の適用を受け、1月27日から3月6日まで、南信州全域の酒類の提供を行う飲食店等へ休業・営業時間短縮の要請を行い、感染拡大防止の御協力をいただきました。</p>
1月 ～ 9月	<p>・ <b>感染者療養などの対応</b></p> <p>年明け早々、新型コロナウイルスの感染の拡大(第6波)、夏以降はオミクロン株 BA.5 による、第7波、第8波と呼ばれる感染者の急増があり、保健所を中心に感染した方の療養の支援などを行いました。9月26日からは感染者の全数把握の見直しがありました。</p> <div data-bbox="715 1361 1394 1832">  <p>南信州管内の新型コロナウイルス感染症陽性者数の推移 期間R3.12.1～R4.12.31 ※R4.12.18現在 単位：人</p> <p>The chart shows daily positive cases from Dec 1, 2021, to Dec 18, 2022. It highlights three waves: the 6th wave (Jan-Mar 2022), the 7th wave (Aug-Sep 2022), and the 8th wave (Nov-Dec 2022). The 8th wave shows the highest peak, exceeding 450 cases per day.</p> </div>
2月 ～	<p>・ <b>ワクチン接種の促進支援</b></p> <p>市町村の支援を行いながら、県接種会場として飯田市の「エス・バード」において2月から4月にかけて、延べ12日間、ワクチン接種バスとして8月に阿智村、高森町で2日間、飯田合同庁舎において7月から12月に延べ15日間、接種会場を設け、ワクチン接種を促進してきました。</p> <div data-bbox="1070 1892 1394 2116">  <p>A white bus with a green sign on the front, used for vaccination campaigns in the region.</p> </div>

### ・子ども応援フードドライブキャンペーン実施！

食料支援が必要なご家庭を応援するため、「フードドライブキャンペーン」を飯田合同庁舎で計4回開催しました。（2、6、10、11月）

2月～ 本年はキャンペーンとしてそれぞれ1か月程度の募集期間を設けて実施し、多くの皆様から米、缶詰、レトルト食品等のご支援をいただきました。

食料品をお届けした御家庭からは「御支援の品をいただきありがとうございます。とても助かりました。お心遣いを大変感謝しています。」等の感謝の声をいただいています。



### ●次期総合5か年計画南信州地域計画を策定

令和5年度からの5年間の県づくりの方向性を示す総合5か年計画の策定に当り、南信州地域計画の策定に着手しました。地域の課題と現状把握、解決に向けた取組まで、各界の皆様から御意見をいただきながら検討を重ね、素案をまとめました。



### ●第4期長野県食と農業農村振興計画の南信地域発展方向を策定

「長野県食と農業農村振興の県民条例」に基づき策定する令和5年度からの計画について、南信州地区部会や市町村・JAと検討を進めました。「皆が憧れる農業の担い手の確保・育成」、「新技術や新品種拡大による競争力の強い果樹産地づくり」など、6つの重点取組について県の取組に加え、関係機関の参画や県民の協働による一体的な推進に取り組んでいきます。

2・10月

### ●天龍村国道418号 トンネル工事2箇所が貫通【建設事務所】

天龍村の国道418号では、大規模な斜面崩落により2箇所ですトンネル掘削工事に着手していましたが、福島トンネルは2月17日に、足瀬トンネルは10月13日にそれぞれ貫通となりました。貫通後は、トンネルの内部工事や前後関連工事を行い早期の供用を目指します。



3月

### ●七年に一度 飯田お練りまつり開催！

～信州観光復興元年プロモーション始まる～【地域振興局】

7年に一度の飯田お練りまつりが飯田市で開催され、3月25日から27日の3日間で延べ約20万人の人出とおおいににぎわいました。県では令和4年度を信州観光復興元年として位置づけ、春の信州彩り観光キャンペーンでは、お練りまつりを契機に花やアクティビティなど各地の見どころをPRしました。



5 月

### ●天竜川上流水防総合演習を7年ぶりに実施【建設事務所】

飯田市川路にて天竜川上流域における洪水、土砂災害を想定した演習が実施され、水防工法の講師及び道路啓開作業に参加しました。演習には行政、水防管理団体、一般住民が参加し、官民一体となった防災体制を確立するとともに、水防技術の向上・伝承及び水防知識の普及と理解、水防意識の向上を図りました。



6 月

### ●日本なし産地再生プロジェクト設立 ～関係機関が一丸となって、産地課題を解決する～ 【地域振興局・南信農業試験場】

6月30日に、長野県（農業技術課、南信州地域振興局、南信農業試験場）、JAみなみ信州梨部会、下伊那園芸農業協同組合生産部会ナシ部会、みなみ信州農業協同組合、下伊那園芸農業協同組合、JA全農長野南信事業所及び日本ナシ生産者を有する南信州管内7市町村が協力し、地域の日本ナシの再生に取り組む「日本なし産地再生プロジェクト」を立ち上げました。担い手の確保・育成や栽培技術に関する課題解決、品種育成、販売戦略の構築などで産地再生に取り組んでいきます。

また、プロジェクトの一環として、南信農業試験場において約30年かけて育成した新品種の日本ナシ、「天空のしずく」のお披露目会を9月13日に開催しました。「南水」を親に持つ有望な品種の誕生となり、糖度が高くジューシーで病気にも強い特徴があります。当日は50名を超える生産者等が参加し、産地としての大きな期待が寄せられています。



7・8月

### ●「参議院議員選挙」及び「長野県知事選挙」を執行【地域振興局】

7月10日に第26回参議院議員通常選挙、8月7日に長野県知事選挙が執行されました。投票率向上に向け、街頭一斉啓発の他、管内の駅や高校・短大において、幅広い年代層へ投票の呼びかけを行い、当地域における参院選の投票率は前回を上回りました。



9 月

### ●プラスチックスマート啓発の環境学習ツアー開催【地域振興局】

プラスチックスマートを啓発するため、環境学習ツアー「みんなで考えよう 海洋プラスチックごみ in 遠州灘海岸（静岡県）」を9月3日に開催しました。アカウミガメの放流体験やマイクロプラスチックのごみ拾いを行い、海なし県から下流域にも影響を及ぼすプラスチックごみの削減について体験学習しました。



10 月

## ●大島阿島線（喬木村 加々須）災害復旧工事区間の供用開始

【建設事務所】

喬木村加々須地区の災害復旧工事において、10月22日に開通式典が執り行われました。令和2年7月梅雨前線豪雨では486mmを記録する大雨となり、約1万㎡の大規模な法面崩落が発生し道路が寸断されました。再度災害防止を図るため、被災箇所を回避したバイパス道路による復旧を行いました。地域及び関係機関の皆様、工事関係者の御協力により、2年余りの短期間での供用となりました。



11 月

## ●南信州環境メッセ 2022 を開催【地域振興局】

11月5・6日、「リニアとともに地域がにぎわう環境先進地を目指して」を副題に、南信州環境メッセ2022（ゼロカーボン活動推進見本市）を飯田市内で開催しました。「ゼロカーボンミーティング in 南信州」のほか、企業・団体等の出展、中高生の学習発表、次世代自動車の展示・試乗など、ゼロカーボン社会の実現に向けた情報を南信州から発信しました。



## ●「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録

～「新野の盆踊」・「和合の念仏踊」（阿南町）～ 【地域振興局】

11月30日に、全国の国指定重要無形民俗文化財41件が「風流踊」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されました（県内計3件）。阿南町から2つの民俗芸能がユネスコ無形文化遺産に登録されることは、南信州地域の誇りであり、これを契機に民俗芸能を地域全体で支える機運の高まりが期待されます。



12 月

## ●リニア中央新幹線長野県駅（仮称）の、安全祈願・起工式が開催されました！【建設事務所】

JR東海は12月22日、長野県駅（仮称）建設予定地である飯田市上郷飯沼において、多くの関係者を招き、安全祈願・起工式を執り行いました。品川－名古屋間にできる6駅のうち5番目の着工で、地上駅としては岐阜県駅（仮称）に続き2番目です。完成時には、ホーム2面、線路4線を有する、延長約950m、ホーム区間の最大幅約40m、最大高さ約20mの駅となる計画です。



信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

飯田保健福祉事務所 総務課 総務係  
(課長) 鷺澤 太 (担当) 佐々木 剛  
電話 : 0265-53-0442 FAX : 0265-53-0469  
E-mail : iidaho-somu@pref.nagano.lg.jp

南信州地域振興局 総務管理課 総務係  
(課長) 小川 浩幸 (担当) 田中 真里愛  
電話 : 0265-53-0400 FAX : 0265-53-0404  
E-mail : minamichi-somu@pref.nagano.lg.jp

飯田建設事務所 総務課 総務係  
(課長) 油井 賢治 (担当) 平澤 紀子  
電話 : 0265-53-0448 FAX : 0265-23-1699  
E-mail : iidaken-somu@pref.nagano.lg.jp